2　事務所、店舗、百貨店用建物以外の建物
（1）住宅、アパート用建物

部分別	評点項目及び標準評点数			標準量	補正項目及び補正係数				計算単位
					補正項目	増点補正率	標準	減点補正率	
主体構造部	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確でない建物	鉄骨鉄筋コンクリート造 34,330	鉄筋〇・〇八六トン、コンクリート〇・七〇〇立方メートル、延べ床面積一・〇平方メートル当たり鉄骨〇・〇四三トン、	階層数	1.05 ← 地上9階のもの	1.0 地上6階のもの	→ 0.95 地上4階のもの	延べ床面積
					階高	1.10 ← 5m程度のもの	1.0 4m程度のもの	→ 0.95 3m程度のもの	
					柱間	1.10 ← 7.5m程度のもの	1.0 6m程度のもの		
					壁面積の大小	1.10 ← 大きいもの（延べ床面積1.0㎡当たり1.92㎡程度のもの）	1.0 普通のもの（延べ床面積1.0㎡当たり0.96㎡程度のもの）	→ 0.95 小さいもの（延べ床面積1.0㎡当たり0.54㎡程度のもの）	
					地階	1.05 ← 地下2階のもの	1.0 地下1階のもの	→ 0.95 地階のないもの	
					工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
		鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物	鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （算式） 標準評点数 ＝｛169,910×鉄骨使用量（単位ｔ）｝＋ ｛100,640×鉄筋使用量（単位ｔ）｝＋ ｛26,250×コンクリート使用量（単位㎥）｝		工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
	鉄筋コンクリート造	鉄筋及びコンクリートの使用量が明確でない建物	鉄筋コンクリート造 27,950	コンクリート〇・七二〇立方メートル、延べ床面積一・〇平方メートル当たり鉄筋〇・〇九〇トン、	階層数	1.05 ← 地上5階のもの	1.0 地上3階のもの	→ 0.95 地上2階のもの	延べ床面積
					階高	1.05 ← 4.5m程度のもの	1.0 3.5m程度のもの	→ 0.95 3m程度のもの	
					壁面積の大小	1.10 ← 大きいもの（延べ床面積1.0㎡当たり1.92㎡程度のもの）	1.0 普通のもの（延べ床面積1.0㎡当たり0.96㎡程度のもの）	→ 0.95 小さいもの（延べ床面積1.0㎡当たり0.54㎡程度のもの）	
					地階	1.05 ← 地階のあるもの	1.0 地階のないもの		
					工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
		鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物	鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （算式） 標準評点数 ＝｛100,640×鉄筋使用量（単位ｔ）｝＋ ｛26,250×コンクリート使用量（単位㎥）｝		工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	

プレハブ方式構造	鉄筋コンクリート（プレキャストコンクリート）の使用量が明確でない建物	プレキャストコンクリート	20,320	プレキャストコンクリート〇・〇二四トン、延べ床面積一・〇平方メートル	階数	1.50 ← 5階建のもの	1.0 2階建のもの	→ 0.75 平家建のもの	延べ床面積
					階高	1.05 3.0m程度のもの ←	1.0 2.7m程度のもの	→ 0.95 2.4m程度のもの	
					工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
	鉄筋コンクリート（プレキャストコンクリート）の使用量が明確な建物	鉄筋コンクリート（プレキャストコンクリート）の使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （算式） 標準評点数＝78,190×鉄筋コンクリート使用量（単位㎥）			工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	延べ床面積
鉄骨造	鉄骨の使用量が明確でない建物	鉄骨造 耐火被覆あり	17,490	当たり鉄骨〇・〇九二トン、延べ床面積一・〇平方メートル	階層数	1.05 ← 地上5階のもの	1.0 地上3階のもの	→ 0.95 地上2階のもの	延べ床面積
		錆止め塗装のもの	18,680		階高	1.05 ← 4.5m程度のもの	1.0 3.5m程度のもの	→ 0.95 3m程度のもの	
		耐火被覆なし	15,630		規模	1.06 ← 360㎡程度のもの	1.0 1,800㎡程度のもの	→ 0.94 3,600㎡程度のもの	
		錆止め塗装のもの	16,810		（注）1.08を上限、0.91を下限とする。				
		亜鉛めっき加工のもの	20,960		工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
	鉄骨の使用量が明確な建物	鉄骨の使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （算式） 標準評点数＝A×鉄骨使用量（単位ｔ） A：耐火被覆ありのもの 190,210 耐火被覆ありで錆止め塗装のもの 203,080 耐火被覆なしのもの 169,910 耐火被覆なしで錆止め塗装のもの 182,780 耐火被覆なしで亜鉛めっき加工のもの 227,910			規模	1.06 ← 360㎡程度のもの	1.0 1,800㎡程度のもの	→ 0.94 3,600㎡程度のもの	建床面積
					（注）1.08を上限、0.91を下限とする。				
					工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
屋根構造	鉄筋コンクリート造		5,800	当たり一・〇平方メートル、建床面積一・〇平方メートル					建床面積
	気泡コンクリート板	150mm厚	6,890						
		125mm厚	5,980						
		100mm厚	5,190						
		75mm厚	4,670						
	プレキャストコンクリート板	100mm厚	10,860						
		40mm厚（リブ付）	7,370						
	軽量コンクリート打	大角型波鋼板（捨型枠のもの）1.6mm厚	7,460						
		角型波鋼板（捨型枠のもの）1.2mm厚	6,130						
		ラスシート（捨型枠のもの）	5,320						
	勾配屋根	鉄骨造	5,010	当たり一・三〇平方メートル、建床面積一・〇平方メートル	勾配の大小	1.35 ← かね勾配のもの	1.0 4.5/10 程度のもの	→ 0.95 2.5/10 程度のもの	
		軽量鉄骨造	3,690		軒出の大小	1.20 ← 軒出の大きいもの	1.0 軒出45cm程度のもの	→ 0.90 軒出の小さいもの	
		木造	7,020						